2023年7月8日

日本小児科学会東京都地方会
2023年度総会

日本小児科学会東京都地方会
会　長　森岡　一朗

会場　　アットビジネスセンター八重洲501号室＋Zoom　ハイブリッド開催

1. 2022年度庶務・事業報告　p.2－3
2. 名誉会員表彰　p．3
3. 次期会長選任に関して　p．3
4. 運営状況報告　p.4－5
5. 2022年度決算・監査報告(資料1)　p.5－6
6. 2023年度予算報告(資料2)　p.5－6
7. 会則改変　p．7
8. 2023年度事業計画　p.8－9
9. 東日本小児科学会　p．9
10. こどもの健康週間事業　p．9
11. 小児診療初期対応（JPLS）講習会　p．10

以上

1．　2022年度庶務・事業報告

■　庶務報告　会員登録状況

	2022 年 1－2023 年 3 月	2021 年 1－12 月	2020 年 1－12 月
○会員数	1991 名	2051 名	2051 名
内　名誉会員	25 名	28 名	29 名
入会	123 名	112 名	65 名
退会	148 名	319 名	155 名

■　教育講演（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

月	演題数	教育講演	演者	会場	参加人数
2022 年 5 月～7 月講話会			担当プログラム委員　宮田世羽先生		
5	9 題	DX 時代の医療安全対策を考える（専門医共通講習:医療安全）	根東義明先生	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰ＋ライブ配信	来場 91 名 Web50 名
6	9 題	新しい小児生活習慣病予防検診（小児科領域講習）	原光彦先生	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰ＋ライブ配信	来場 117 名 Web97 名
7	10 題	小児診療に関わる医療保険制度（専門医共通講習:医療制度と法律）	遠藤明史先生	飯田橋ﾚｲﾝﾎﾞｰ＋ライブ配信	来場 82 名 Web35 名*
2022 年 9 月～12 月講話会			担当プログラム委員　伊藤直樹先生		
9	9 題	先天性サイトメガロウイルス感染診療の実際（小児科領域講習）	伊藤嘉規先生	ｱｯﾄﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰ八重洲＋ライブ配信	来場 121 名 Web112 名
10	8 題	日本において発症頻度が高いシトリン欠損症についての最新の知見（小児科領域講習）	大石公彦先生		来場 109 名 Web78 名
12	8 題	小児の頭痛の診方―頭痛の診療ガイドライン 2021 を踏まえて―（小児科領域講習）	山中岳先生		来場 128 名 Web147 名
2023 年 1 月～3 月講話会			担当プログラム委員　井上毅信先生		
1	9 題	「SIDS、そして子どもの死」（小児科領域講習）	窪田満先生	ｱｯﾄﾋﾞｼﾞﾈｽｾﾝﾀｰ八重洲＋ライブ配信	来場 97 名 Web96 名
2	9 題	「プライマリケアで診る「夜尿症診療」のコツ」（小児科領域講習）	西﨑直人先生		来場 123 名 Web105 名
3	12 題	「小児血液疾患の見方・考え方」（小児科領域講習）	谷ヶ﨑博先生		来場 118 名 Web95 名

＊教育講演のWeb参加者

■　教育講演オンデマンド配信（2021 年度講話会分）

第 674 回（2022 年 1 月配信）：聴講者：198 名　単位証発行：177 名
第 675 回（2022 年 2 月配信）：聴講者：186 名　単位証発行：183 名
第 676 回（2022 年 3 月配信）：聴講者：222 名　単位証発行：216 名
第 677 回（2022 年 5 月配信）：聴講者：147 名　単位証発行：139 名
第 678 回（2022 年 6 月配信）：聴講者：144 名　単位証発行：136 名
第 679 回（2022 年 8 月配信）：聴講者：　87 名　単位証発行：　84 名
第 680 回（2022 年 9 月配信）：聴講者：166 名　単位証発行：160 名

2．名誉会員表彰

被推薦者　岩田　敏先生（国立がん研究センター中央病院）
推薦者　　高橋　孝雄先生（慶応義塾大学医学部小児科）

2022年度第2回幹事会において承認されました。

2023年6月現在の名誉会員(50音順　敬称略)

青木　継稔	赤塚　順一	赤松　　洋	阿部　敏明
岩田　敏	衞藤　義勝	大澤　真木子	大和田　操
岡部　信彦	白木　和夫	橋本　　清	早川　　浩
廣津　卓夫	別所　文雄	保科　　清	星加　明徳
松尾　宣武	麦島　秀雄	村上　睦美	村田　文也
柳川　幸重	薮田　敬次郎	山城　雄一郎	山本　光興
和田　紀之			

名誉会員推薦方法：通年公募制です。ホームページのお知らせ一覧から書式をダウンロードできます。毎年度11月までの応募を当該年度の名誉会員候補とし、2月の幹事会で審議します。

名誉会員資格：推薦年度12月末までに満70歳を迎えられ本会に功績のあるかた。

3．次期会長選任に関して

次期会長　昭和大学小児科　水野克己先生

2023 年度第 1 回幹事会において承認されました。

4． 運営状況報告

	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年 1-3 月 ※会計期調整	2022 年度
予算収入	14,553,500	13,178,500	13,280,200	12,470,200	10,715,200	10,050,200	
予算支出	14,235,000	13,814,000	14,165,000	16,665,000	16,635,000	17,550,000	
予算差引	318,500	-635,500	-884,800	-4,194,800	-5,919,800	-7,499,800	
収入	13,327,697	12,913,690	12,447,685	10,612,669	10,788,162	50,071	8,398,566
支出	13,429,186	13,311,697	14,485,714	1,251,906	11,821,033	3,455,398	14,532,554
差引	-101,489	-398,007	-2,038,029	-1,539,237	-1,032,871	-3,405,327	-6,133,988
残高	20,900,135	20,502,128	18,464,099	16,924,862	15,891,991	12,486,664	6,352,676

赤字要素
事務局費326万円から550万円へ増額
東日本小児科学会へ70万円補助開始
会員減少傾向

黒字
新型コロナウイルス感染症流行

2020年度から大幅なマイナス予算が計上されていましたが、新型コロナウイルス流行により講話会がWeb開催となり、会場費が返上されたため、地方会は存続できていました。マイナス予算の主因は事務経費増大、東日本小児科学会への補助金、会員数減少です。2022年度かえ講話会の会場参加を再開しており、早急な収支改善策が必要でした。短期的に改善しうる項目を実行し、長期的な策では会費改定等を幹事会で討議しました。

収支改善策①　会場変更とオンデマンド終了
会場の変更で経費を年約73万円削減しました。
オンデマンド配信は前年度分も今年度分も前事務局の予算に計上されておりませんが、年約450万円の支出が必要なため、前年度の講話会で終了としました。

収支改善策②　ペーパーレス化
2023 年 1 月第 687 回講話会からプログラムをメール配信し、ペーパーレス化しました。
ペーパーレス化で年約 300 万円削減しました。

収支改善策③　東日本小児科学会への補助金廃止
日本小児科学会から東日本小児科学会のような広域の地方会学会に補助している制度があります。
親学会への補助金の申請が可能なことから、地方会からの支給は 2022 年度から廃止しました。
なお、2021 年度は現会長が会頭を務め、地方会からの補助金は使用せず運営し、全額返納しています。

収支改善策④　事務局契約変更

旧事務局（佐藤企画）事務費年額 550 万円を対価相当 120 万円へ契約変更し、2022 年度で契約終了しました。事務局を会長医局に移転し、講話会、各種会議等準備、会員管理（学会バンクと連携）、その他（小児科学会関連業務）を担当しています。

収支改善策⑤　企業セミナーおよび広告の参入

趣意書を作成し、2023 年度から講話会へのセミナーの導入を開始しました。ホームページへの企業広告掲載も公募しています。

経営改善策⑥　会費や謝礼の改定

感染症だよりの座長は廃止することを運営委員会で決定しました。感染症だよりは当会の有意義な特徴であり継続します。

感染症だより座長：(旧) 5 千円　→　（新）会場係によるアナウンス
感染症だより演者：5 千円＋交通費 5 千円　（変更なし）

指定発言、教育講演演者は「地方会」の会員か否かによって支給額が異なっていましたが、「小児科学会」会員か否かに変更することも運営委員会で決定しました。会員数を増やすべく、当会の学術的な活性化のために一般演題座長にも謝礼を行うことを幹事会で決定しました。

一般演題座長：(旧）無償　→　（新）クオカード 1000 円　2023 年度から改定
指定発言演者：(旧）地方会　→　（新）日本小児科学会会員 5 千円、非会員 1 万円
教育講演演者：(旧）地方会　→　（新）日本小児科学会会員 5 万円、非会員 7 万円
教育講演座長：1 万円　（変更なし）

当会のプライマリバランスを保つため、年会費および講話会費の見直しを幹事会で決定しました。一方で、小児科専門医を志す医師の研鑽の場としての意義から、年会費（および講話会会場費）の学生、臨床研修医への特例制度を開始しました。

講話会費	（旧）500 円	→　（新）1000 円	2023 年度から改定
年会費	（旧）6000 円	→　（新）8000 円	2024 年度から改定

学生（大学院生は除く)、臨床研修医は年会費および講話会会場費は免除とする。
学生は学生証、臨床研修医は職員証を提示し、年会費免除申請書と共に事務局に提出する。
2023 年 7 月から適用

5．2022 年度決算・監査報告　（資料１）

＊事務管理適正化のため会計会期を会長任期と同期になるよう変更しました。
2022 年からは 1 月～12 月から年度 4 月～3 月までを計上しています。
そのため 2022 年 1 月～3 月の 3 か月分を分離して決算致しました。

（資料補足説明）

貸借対照表：前年度財産 1,250 万円、2022 年度財産 635 万円でした。

正味財産増減計算書：前年度の残り 3 か月と 2022 年度 12 か月での比較です。この期間に年会費の集計がなかったため、収入がこどもの健康週間助成金のみになっています。

予算対比正味財産増減計算書：予算では繰越金（財産）は 500 万円でしたが、決算では 635 万円でした。予算より収入は減りましたが、経営改善策で赤字予算が 750 万円から 600 万円へ 150 万円の総支出を削減しました。

収入は会場費がオンラインだったので予算に入っていない分増額しています。雑収益は前事務局が前会場に前入金していた返金で見かけ上収入があるように見えますが、支出にも記載しており、相殺され、収益を除く純収益は 790 万円です。予算より、200 万円の収入減です。

支出は経営改善策により 550 万円削減できています。講話会会場変更、ペーパーレス化、こどもの健康週間発行部数適正化、東日本小児科学会補助金終了、そして、最も大きな額は事務委託の変更です。会場開催再開による会場配信人件費と JPLS の支出が新たに発生しました。また、2022 年度の予算に計上されていなかった前会長期のオンデマンド費 300 万円とホームページ刷新会員管理委託費 100 万円の支払いが生じ、400 万円が予算外に支出となりました。つまり、支出は経営改善策により 550 万円削減していますが、予定外支出 400 万円のため、結果として 150 万円になっています。

財産目録：2022 年度財産 635 万円とかなり減額し、運営困難な状況です。

監査報告：石黒先生により、本決算報告から適正に運用されていることを確認して頂きました。

6．2023 年度予算報告　共催有無対比入り　（資料２）

今年度は 287 万円の黒字予算です。

共催セミナーと広告掲載費の導入が大きな収入になります。

ただし、広告掲載費 256 万円を計上していますが、残念なことに現時点で応募がなく、収入として見込めません。実質、収入支出プライマリーバランスゼロとなる可能性が高いです。

7．会則改変

日本小児科学会東京都地方会会則

新旧対応表

	旧	新
第1章	第 2 条 本会は事務所を東京都新宿区西新宿 5-25-11 日本小児医事出版社内に置く。 会則第5条　本会は前条の目的を達成するために、下記の事業を行う。 1.本会の会員は、小児医療または小児保健にたずさわる医師にして、本会の趣旨に賛成するものとする。 2.本会に準会員をおく。 本会の準会員は、前項に該当しない小児医療または小児保健の関係者にして、本会に入会を希望するものとする。	第 2 条 本会は事務所を会長医局または適正な委託会社に置く。 会則第5条　本会は前条の目的を達成するために、下記の事業を行う。 1.本会の会員は、小児医療または小児保健にたずさわる医師にして、本会の趣旨に賛成するものとする。 2.本会に準会員をおく。 本会の準会員は、前項に該当しない小児医療または小児保健の関係者にして、本会に入会を希望するものとする。会費は正会員に準ずる。
第2章	第 9 条 会長は本会を代表し、会務を統括する。 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会務を代行する。 会長職務代行者は、会長が定めた順位による。 監事は民法第 59 条に準じた職務を行う。 幹事は幹事会を構成し、会務を掌理する。	第 9 条 会長は本会を代表し、会務を統括する。 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときは会務を代行する。 会長職務代行者は、会長が定めた順位による。 監事は次の職務を行う。(1) 法人の財産の状況を監査すること。(2) 理事の業務の執行の状況を監査すること。(3) 財産の状況又は業務の執行について、法令、定款若しくは寄附行為に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、総会又は主務官庁に報告をすること。 (4) 前号の報告をするため必要があるときは、総会を招集すること。 幹事は幹事会を構成し、会務を掌理する。
第4章	第 15 条 本会の会計年度は毎年1月1日にはじまり、同年 12 月 31 日までとする。	第 15 条 本会の会計年度は4月1日にはじまり、翌年3 月 31 日までとする。
講話会運営規則	第4条　運営委員の任期は1ヵ年とする。ただし、連続三選は認めない。	第4条　運営委員の任期は会長の任期に準ずる。ただし、連続三選は認めない。
第5章付則	第 18 条 本会則ならびに講話会運営規則、幹事選挙施行規則は、昭和 45 年 2 月 21 日より施行する。	第 18 条 本会則ならびに講話会運営規則、幹事選挙施行規則は、令和 5 年 2月 18 日より施行する。

8．2023 年度事業計画

■ 2023 年度講話会　（会場：アットビジネスセンター八重洲＋ライブ配信）

	日　程	感染症だより	教育講演	共催セミナー
第 690 回	2023 年 6 月 10 日	神谷　元先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	加藤光広先生 （昭和大学）	森岡一朗先生 （日本大学）
第 691 回	7 月 8 日	神谷　元先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	上原秀一郎先生 （日本大学小児外科学）	村山　圭先生 （千葉県こども病院）
第 692 回	9 月 9 日	砂川富正先生 （国立感染症研究所実地疫学研究センター）	鳴海覚志先生 （慶應義塾大学）	呉　宗憲先生 （東京医科大学）
第 693 回	10 月 14 日	砂川富正先生 （国立感染症研究所実地疫学研究センター）	山本俊至先生 （東京女子医科大学）	齋藤加代子 先生 （東京女子医科大学）
第 694 回	12 月 9 日	高梨さやか先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	高月晋一先生 （東邦大学）	成田雅美先生 （杏林大学）
第 695 回	2024 年 1 月 13 日	高梨さやか先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	内ケ崎西作先生 （東京医科大学法医学分野）	未定
第 696 回	2 月 10 日	森野紗衣子先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	未定	演者未定
第 697 回	3 月 9 日	森野紗衣子先生 （国立感染症研究所感染症疫学センター）	未定	未定

＊4，8，11 月は休会となります。2023 年 5 月は会場の都合で休会とします。

■ 講話会プログラム

14：00－15：00	一般演題	1 演題 10 分／5～6 演題
15：10－15：30	感染症だより	講演 20 分＋質疑応答 5 分
15：30－16：10	共催セミナー	講演 40 分（質疑応答含む）
16：20―17：25	教育講演	講演 60 分＋質疑応答 5 分

＊一般演題が多い場合、講話会終了時間を 30 分延長しする可能性がございます。

■ 各種会議開催

運営委員会　年 8 回開催（講話会同日）

幹事会　　6 月開催（講話会同日）第 1 回幹事会：2022 年度決算報告

　　12 月開催（講話会同日）第 2 回幹事会：2023 年度中間報告、次年度予算

総会　　7 月開催（講話会同日）：2022 年度決算報告　名誉会員表彰

■　幹事選挙

11 月告示　2024 年 1 月選挙

■　JPLS 開催（東京都）申し込みは日本小児科学会ホームページをご参照ください。

開催日程	会場	申込開始時期
2023 年 11 月 25 日（土）	日本大学	2023 年 7 月下旬
2023 年 11 月 26 日（日）	日本大学	2023 年 7 月下旬
2024 年 2 月 3 日（土）	国立成育医療研究センター	2023 年 10 月上旬
2024 年 2 月 4 日（日）	国立成育医療研究センター	2023 年 10 月上旬

９．東日本小児科学会

第 47 回東日本小児科学会

日時　2022 年 11 月 23 日（水曜祝日）オンデマンド配信 11 月 30 日－12 月 28 日

横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学主任教授 伊藤秀一先生を会長とし、Web 形式で実施されました。

第 48 回東日本小児科学会

日時　2023 年 11 月 23 日（木曜祝日）オンデマンド配信 11 月 30 日－12 月 28 日

会場　文京学院大学本郷キャンパス仁愛ホール

テーマ　小児科はこれからが面白い

会長　日本医科大学付属病院　小児科　大学院教授 伊藤保彦先生

詳細はホームページ　https://48east-jps.jp/　をご参照ください。

１０．2022 年度こどもの健康週間事業

2021 年度 10 月配送　30,000 部印刷（317,306 円）4,500 部残　（配布先は記録保管なし）

2022 年度 11 月配送　会員数＋歯科医師会用に 2,500 部印刷（214,050 円）残少数

執筆担当 順天堂大学練馬病院、杏林大学、東邦大学医療センター大森病院、日本小児歯科学会関東地方会

こどもの健康週間は日本小児科学会の主催する事業で 5 万円が補助されます。支出を適正化するために 2022 年度は印刷数を削減し、ホームページに PDF を掲載してダウンロードが可能な形態にしました。

こどもの健康週間を開催している地方会は 2021 年度 47 都道府県中 12 地方会のみで、すべてセミナーでした。東京都地方会ではパンフレット制作を継続する場合、ペーパーレス化のためホームページに掲載するのみとなります。

幹事会で検討した結果、当地方会でのこどもの健康週間への参加は 2022 年度で終了とさせていただきます。

１１．小児診療初期対応（JPLS）

2022年度から新導入した企画です。日本小児科学会と地方会の共催です。日本小児科学会が参加者の公募を行います。地方会は会場を提供致します。

対　　象：小児科専門医を目指す日本小児科学会学会員
　　初期対応を学び直したい日本小児科学会学会員

単　　位：小児科専門医（新制度）　更新単位ⅲ）　小児科領域3単位

参 加 費：20,000円（昼食代込）

募集人数：12名※最少催行人数8名

申込方法：日本小児科学会JPLSコース申込専用サイトからお申し込みください。

2022年度開催報告

2022年11月19日 日本大学医学部リサーチセンター 受講12名

2023年度開催計画　前述事業計画をご覧ください。

決　算　報　告　書

自　令和　4 年　4 月　1 日

至　令和　5 年　3 月　31 日

日本小児科学会　東京都地方会

貸借対照表

2023年3月31日現在

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金・預金	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988
流動資産合計	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988
資産合計	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988
Ⅱ　負債の部			
負債合計	0	0	0
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	21,564,650	21,564,650	0
2．一般正味財産	△ 15,211,974	△ 9,077,986	△ 6,133,988
正味財産合計	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988
負債及び正味財産合計	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988

正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年3月31日まで

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位:円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費	7,319,120	0	7,319,120
会場費	494,000	0	494,000
こどもの健康週間開催助成金	50,000	50,000	0
雑収益	535,370		535,370
受取利息	76	71	5
経常収益計	8,398,566	50,071	8,348,495
(2) 経常費用			
◆事業費	10,290,311	2,428,978	7,861,333
① 講話会費	7,353,182	1,846,642	5,506,540
会場利用料	3,022,754	426,642	2,596,112
オンデマンド配信費	2,995,428	1,100,000	1,895,428
講師謝礼	490,000	190,000	300,000
感染症たより謝礼	90,000	20,000	70,000
座長謝礼	125,000	35,000	90,000
指定発言謝礼	90,000	75,000	15,000
会場整理人件費	540,000	0	540,000
② プログラム	2,614,935	579,036	2,035,899
プログラム印刷費	1,458,403	257,204	1,201,199
プログラム発送費	1,149,352	167,832	981,520
プログラム封筒印刷費	7,180	154,000	△ 146,820
③ 抄録掲載料	0	0	0
④ こどもの健康週間開催費	282,331	3,300	279,031
印刷費	247,005	0	247,005
協力者謝礼	30,000	0	30,000
送料	5,326	3,300	2,026
⑤ JPLS開催費	32,975	0	32,975
JPLS開催経費	2,975	0	2,975
JPLS運営準備費	30,000	0	30,000
⑥会議費	6,888	0	6,888
幹事会費	6,888	0	6,888
幹事選挙費	0	0	0
総会関係費	0	0	0
⑦東日本小児科学会開催費	0	0	0
補助金	0	0	0
◆管理費	4,242,243	1,026,420	3,215,823
事務管理費	2,765,000	916,666	1,848,334
事務用消耗品費	109,482	45,032	64,450
通信費	32,864	9,557	23,307
旅費交通費	2,300	0	2,300
ホームページ維持及び会員管理費	1,033,010	49,500	983,510
年会費請求費用	278,174	0	278,174
雑費（振込手数料等）	15,413	5,665	9,748
その他（年会費課徴分返金）	6,000	0	0
経常費用計	14,532,554	3,455,398	11,077,156
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 6,133,988	△ 3,405,327	△ 2,728,661
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 6,133,988	△ 3,405,327	△ 2,728,661
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 6,133,988	△ 3,405,327	△ 2,728,661
税引前当期一般正味財産増減額	△ 6,133,988	△ 3,405,327	△ 2,728,661
当期一般正味財産増減額	△ 6,133,988	△ 3,405,327	△ 2,728,661
一般正味財産期首残高	△ 9,077,986	△ 5,672,659	△ 3,405,327
一般正味財産期末残高	△ 15,211,974	△ 9,077,986	△ 6,133,988
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	21,564,650	21,564,650	0
指定正味財産期末残高	21,564,650	21,564,650	0
Ⅲ 正味財産期末残高	6,352,676	12,486,664	△ 6,133,988

予算対比正味財産増減計算書

2022年 4月 1日から2023年3月31日まで

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位：円）

科目	予算額	決算額	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費	10,000,000	7,319,120	2,680,880
会場費	0	494,000	△ 494,000
こどもの健康週間開催助成金	50,000	50,000	0
雑収益	0	535,370	△ 535,370
受取利息	200	76	124
経常収益計	10,050,200	8,398,566	1,651,634
(2) 経常費用			
◆事業費	10,870,000	10,290,311	579,689
① 講話会費	5,630,000	7,353,182	△ 1,723,182
会場利用料	4,500,000	3,022,754	1,477,246
オンデマンド配信費	0	2,995,428	△ 2,995,428
講師謝礼	650,000	490,000	160,000
感染症たより謝礼	50,000	90,000	△ 40,000
座長謝礼	130,000	125,000	5,000
指定発言謝礼	300,000	90,000	210,000
会場整理人件費	0	540,000	△ 540,000
② プログラム	3,350,000	2,614,935	735,065
プログラム印刷費	1,500,000	1,458,403	41,597
プログラム発送費	1,700,000	1,149,352	550,648
プログラム封筒印刷費	150,000	7,180	142,820
③ 抄録掲載料	200,000	0	0
④ こどもの健康週間開催費	690,000	282,331	407,669
印刷費	550,000	247,005	302,995
協力者謝礼	40,000	30,000	10,000
送料	100,000	5,326	94,674
⑤ JPLS開催費	0	32,975	△ 32,975
JPLS開催経費	0	2,975	△ 2,975
JPLS運営準備費	0	30,000	△ 30,000
⑥会議費	300,000	6,888	293,112
幹事会費	150,000	6,888	143,112
幹事選挙費	0	0	0
総会関係費	150,000	0	150,000
⑦東日本小児科学会開催費	700,000	0	700,000
補助金	700,000	0	700,000
◆管理費	6,680,000	4,242,243	2,437,757
事務管理費	5,500,000	2,765,000	2,735,000
事務用消耗品費	70,000	109,482	△ 39,482
通信費	150,000	32,864	117,136
旅費交通費	0	2,300	△ 2,300
ホームページ維持及び会員管理費	30,000	1,033,010	△ 1,003,010
年会費請求費用	400,000	278,174	121,826
雑費（振込手数料等）	500,000	15,413	484,587
その他（慶弔費他）	30,000	6,000	24,000
経常費用計	17,550,000	14,532,554	3,017,446
当期経常増減額	△ 7,499,800	△ 6,133,988	△ 1,365,812
2．前年度繰越金	12,486,664	12,486,664	0
3．次年度繰越金	4,986,864	6,352,676	△ 1,365,812

財産目録

2023年3月31日現在

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
（流動資産）	預金	普通預金		6,352,676
流動資産合計				0
資産合計				6,352,676
正味財産				6,352,676

日本小児科学会　東京都地方会

監　査　報　告　書

令和 5 年 5 月 16 日

管理責任者　　森　岡　一　朗　　殿

監事　　石　黒　　精

田中会計事務所
外部監査　　藤　井　崇　正

私たち監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の幹事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1．監査の方法及びその内容

私たち監事は、幹事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、幹事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及び関連する書類の調査を行い、当該事業年度に係る貸借対照表、正味財産増減計算書及びこれらの附属明細書並びに財産目録（以下、財務諸表等という）について検討いたしました。

2．監査の結果

（1）事業報告等の監査結果

一　事業報告及びその附属明細書は、法令及び会則に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二　幹事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは会則に違反する重大な事実は認められません。

（2）財務諸表等の監査結果

財務諸表等は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

収支予算書

2023年 4月 1日から2024年3月31日まで

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位:円）

科目	予算額	前年度予算額	増減
Ⅰ 一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費	6,000,000	10,000,000	△ 4,000,000
会場費	960,000	0	960,000
共催費（共催セミナー）	4,800,000	0	4,800,000
広告掲載費	2,560,000	0	2,560,000
こどもの健康週間開催助成金	50,000	50,000	0
雑収益		0	0
受取利息	200	200	0
経常収益計	14,370,200	10,050,200	4,320,000
(2) 経常費用			
◆事業費	6,820,000	10,870,000	△ 4,050,000
①講話会費	4,580,000	5,630,000	△ 1,050,000
会場利用料(ライブ配信含む)	3,200,000	4,500,000	△ 1,300,000
講師謝礼	560,000	650,000	△ 90,000
感染症たより謝礼	80,000	50,000	30,000
座長謝礼	100,000	130,000	△ 30,000
指定発言謝礼	160,000	300,000	△ 140,000
会場整理人件費	480,000	0	480,000
②プログラム	900,000	3,350,000	△ 2,450,000
制作印刷費	800,000	1,500,000	△ 700,000
発送費	50,000	1,700,000	△ 1,650,000
封筒製作費	50,000	150,000	△ 100,000
③抄録掲載料	200,000	200,000	0
④こどもの健康週間開催費	550,000	690,000	△ 140,000
印刷費	500,000	550,000	△ 50,000
協力者謝礼	30,000	40,000	△ 10,000
送料	20,000	100,000	△ 80,000
⑤JPLS開催費	290,000	0	290,000
JPLS開催経費	50,000	0	50,000
JPLS運営準備費	240,000	0	240,000
⑥会議費	300,000	300,000	0
幹事会費	100,000	150,000	△ 50,000
幹事選挙費	100,000	0	100,000
総会関係費	100,000	150,000	△ 50,000
⑦東日本小児科学会開催費	0	700,000	△ 700,000
補助金	0	700,000	△ 700,000
◆管理費	4,680,000	6,680,000	△ 2,000,000
事務管理費	1,000,000	5,500,000	△ 4,500,000
事務用消耗品費	100,000	70,000	30,000
通信費	100,000	150,000	△ 50,000
旅費交通費	100,000	0	100,000
慶弔費	30,000	30,000	0
ホームページ維持及び会員管理費	2,000,000	400,000	1,600,000
年会費決済手数料	500,000	0	500,000
外部委託費（スポンサード窓口）	800,000	500,000	300,000
雑費（振込手数料等）	50,000	30,000	20,000
経常費用計	11,500,000	17,550,000	△ 6,050,000
評価損益等調整前当期経常増減額	2,870,200	△ 7,499,800	10,370,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,870,200	△ 7,499,800	10,370,000
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	2,870,200	△ 7,499,800	10,370,000
一般正味財産期首残高	△ 16,577,786	△ 9,077,986	△ 7,499,800
一般正味財産期末残高	△ 13,707,586	△ 16,577,786	2,870,200
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	21,564,650	21,564,650	0
指定正味財産期末残高	21,564,650	21,564,650	0
Ⅲ 正味財産期末残高	7,857,064	4,986,864	2,870,200

収支予算書

2023年 4月 1日から2024年3月31日まで

日本小児科学会 東京都地方会　　（単位:円）

科　　目	共催　無	共催　有	増減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
１．経常増減の部			
(1) 経常収益			
年会費	6,000,000	6,000,000	0
会場費	960,000	960,000	0
共催費（共催セミナー）	0	4,800,000	△ 4,800,000
こどもの健康週間開催助成金	50,000	50,000	0
雑収益			0
受取利息	200	200	0
経常収益計	7,010,200	11,810,200	△ 4,800,000
(2) 経常費用			
◆事業費	6,820,000	6,820,000	0
①講話会費	4,580,000	4,580,000	0
②プログラム	900,000	900,000	0
③抄録掲載料	200,000	200,000	0
④こどもの健康週間開催費	550,000	550,000	0
⑤JPLS開催費	290,000	290,000	0
⑥会議費	300,000	300,000	0
◆管理費	3,880,000	4,680,000	△ 800,000
事務管理費他	1,330,000	1,330,000	0
ホームページ維持及び会員管理費	2,000,000	2,000,000	0
年会費決済手数料	500,000	500,000	0
外部委託費（スポンサード窓口）	0	800,000	△ 800,000
雑費（振込手数料等）	50,000	50,000	0
経常費用計	10,700,000	11,500,000	△ 800,000
当期経常増減額	△ 3,689,800	310,200	△ 4,000,000